

# 静岡県制定森林整備保全工事標準歩掛

令和4年度版(第1回)

令和4年10月1日

静岡県

# 目次

1	保育	
	(1)山地における作業	
	ア 作業歩道	1
	(2)海岸における作業	
	ア 本数調整伐（海岸防災林）	1
	イ 植栽（砂地造林）	2
	ウ そだ立て	2
	エ 竹箆垣	2
2	森林土木工事	
	(1)擁壁工	
	ア 補強土壁転落防止工	3
	(2)型枠工	
	ア 木製残存型枠（丸太）組立・設置	3
	イ 治山ダム用型枠工（残置式）	4
	(3)山腹工	
	ア 丸太柵工	4
	(4)仮設工	
	ア コンクリート盤台施設	5
	イ 水替樋	5
	(5)その他	
	ア 施工地看板・標示板（治山）設置	6
	イ 雨量計設置撤去	6
	ウ 雨量観測及び資料整理	6
	エ 板状排水材取付	6
	オ 水抜管布設（硬質塩ビ管）	6
	カ 木工沈床歩掛	7
3	積算書の数値処理	
	(1)積算書の数値処理	8
	(2)各単価内部数値処理	8

## 注意事項

1. この森林整備保全工事標準歩掛は、静岡県において、森林整備保全事業（治山関係事業及び林道関係事業をいう。）の積算に使用することを目的に、県独自に作成した歩掛のみを掲載しています。
2. 現地状況等により歩掛は補正されることがあります。
3. この森林整備保全工事標準歩掛が、第三者によって複製・販売されることを禁止します。
4. この森林整備保全工事標準歩掛を使用した公表資料の二次的著作物の作成を禁止します。

1. 保育

(1) 山地における作業

作業歩道

治山林道必携記載の「階段切付」を準用する。

(2) 海岸における作業

ア 本数調整伐 (海岸防災林)

(ア) 伐採枝落し

(人/100m<sup>2</sup>あたり)

樹高 (m)	残存本数 (本)	伐採率			備考
		15~25%	26~35%	36%以上	
2.5~3.4	5,000	0.331	0.394	0.457	(普通作業員)
3.5~4.4	4,300	0.298	0.355	0.412	〃
	3,500	0.265	0.315	0.366	〃
4.5~5.4	3,000	0.232	0.267	0.320	〃
5.5~6.9	2,500	0.199	0.236	0.274	〃
7.0~8.9	1,700	0.132	0.158	0.183	〃

備考

1. 本歩掛は、クロマツが主林木となっている海岸防災林で適用する。
2. 上表にない残存本数を設定した場合は、直近の歩掛を適用する。
3. 樹高は上層木の平均高とする。
4. 枝落し
  - ① 樹高 4 m 以下の場合、地上より 1.0~1.5m 程度とする。
  - ② 樹高 5 m を超える場合、地上より 2.0~3.0m 程度とする。
  - ③ 地上高 3 m 以上は行わない。
  - ④ 枯れ枝は、除去する。
  - ⑤ 風上側の林縁の樹木については、枝落しは差し控える。
  - ⑥ 枝落し歩掛は表 1 とし、枝落しを行わない場合、100m<sup>2</sup> あたり伐採枝落歩掛より 0.07 人差し引く。

表 1

(人・日あたり)

枝落地上高		
1 m	2 m	3 m
740 本	370 本	250 本

## (イ) 片付け

(人/100m<sup>2</sup>当たり)

樹高(m)	残存本数 (本)	伐採率			備考
		15~25%	26~35%	36%以上	
2.5~3.4	5,000	0.250	0.289	0.327	(普通作業員)
3.5~4.4	4,300	0.225	0.260	0.294	〃
	3,500	0.200	0.231	0.261	〃
4.5~5.4	3,000	0.175	0.203	0.229	〃
5.5~6.9	2,500	0.150	0.174	0.196	〃
7.0~8.9	1,700	0.100	0.115	0.131	〃

## 備考

- 作業内容は、作業道脇への集積までとする。
- 伐採木等は、原則、林外処分とする。
  - ①樹幹及び径 5cm 程度以上の枝条のみを持ち出し片付ける場合は、片付け歩掛の 1/2 を計上する。
  - ②林内処理する伐採木等は 50cm 程度に切断し、林地にばら撒く。
- 枝落しを行わない場合、片付け歩掛より、その 1/3 を差し引く。

## (ウ) 選木

選木は 1.0 人/ha とする。

## イ 植栽 (砂地造林)

(100 本当たり)

樹種	クロマツ・トベラ等				肥料木 (アキグミ等)	
	作業種	植穴堀付	植付(無施肥)	小計	施肥	植栽一式
人工数 (普通作業員)		0.47	0.17	0.64	0.03	0.33

## 備考

- 植穴の大きさは直径・深さとも 30 cm 程度を標準とする。
- 埋わら、敷わら、客土等を必要とする場合は別途計上する。

## ウ そだ立て

そだ…長さ 1m 以上、延長 2.5m につき 1 束 (1 m 縄) 使い  
溝堀、埋め立て一式 0.8 人/100m

## エ 竹簀垣

(100m 当たり)

作業種	杭建込み	竹簀立て	結束仕上げ
人工数 (普通作業員)	1.7	1.6	3.0

## 備考

- ます目は 8 m ~ 10 m を標準とする。
- 材料費は別途計上する。

2. 森林土木工事

(1) 擁壁工

ア 補強土壁転落防止工

(100 掛<sup>m</sup>当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	0.69	
普通作業員		人	1.85	
諸雑費		式	1	15%
ブラケット	φ10	個	83	D10 L=328 mm
アンカー	φ10	個	83	D10 L=300 mm
計				

※ 諸雑費は足場仮設材（丸パイプ、直交クラブ、自在クラブ、直線ジョイント等）の費用であり、労務費の合計額に率を乗じた額を上限として計上する。

(2) 型枠工

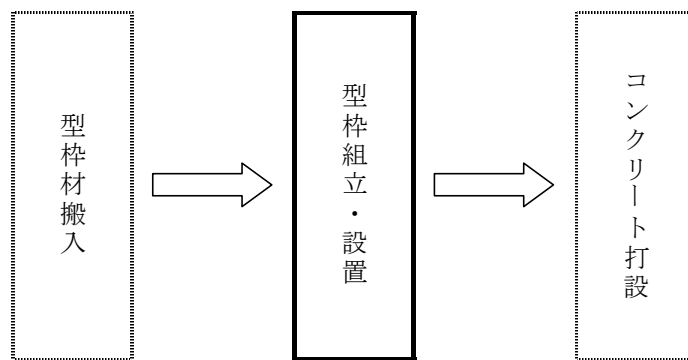
ア 木製残存型枠（丸太）設置・組立

本歩掛は、内部支持材（引張材含む）に丸太材を固定した森林土木構造物（無筋・小型）で、平均設置高 15 m 以下の間伐材を使用した木製残存型枠（丸太）に適用する。

ただし、丸太は、径が 9cm~15 cm 程度、長さが ~4m の材を対象とする。

施工概要

施工フローは、図 I を標準とする。



備考 本歩掛で対応しているのは、実線枠部分のみである。

図 I 木製残存型枠（丸太）の施工フロー木製残存型枠（丸太）の組立・設置に要する施工歩掛  
(100 m<sup>2</sup> 当たり)

名称	単位	無筋構造物	摘要
世話役	人	3.7	
型枠工	〃	5.8	
特殊運転手	〃	1.6	
普通作業員 (又は山林砂防工)	〃	11.0	
諸雑費	%	15	
素材杉材	m <sup>3</sup>	10.0	
木製残存型枠 支保資材	m <sup>2</sup>	100.0	

備考

1. 諸雑費は、電動発電機損料、電気溶接機損料、チェーンソー損料等、材料の切り揃え、持上(下)げ機械に要する費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
2. 上記歩掛には、20 m程度の現場内小運搬を含む。

イ 治山ダム用型枠工（残置式）

(10m<sup>2</sup> 当たり)

名 称	単 位	無筋構造物	摘 要
世 話 役	人	0.2	
型 枠 工	〃	1.19	
普通作業員 (又は山林砂防工)	〃	1.01	
諸 雑 費	%	40	
県産材合板	枚	6.17	

備考

1. 諸雑費は、型枠用金物、組立支保材、電気ドリル、電動ノコギリ、電力、仮設材の持上(下)げ機械運転に要する費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じて得た金額を上限として計上する。

(3)山腹工

ア 丸太柵工

(柵高 0.50m)

(10m 当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
杭木	長 1.5m 末口 9cm	本	13	スギ、ヒノキ皮剥材
背丸太	長 4.0m 末口 10cm	本	12.5	スギ、ヒノキ円柱加工材
なまし鉄線	#10	kg	8.06	65箇所×2m×0.062kg/m
普通作業員 (山林砂防工)		人	1.68	杭打 0.06人×13本 背丸太設置 0.05人×5m <sup>2</sup> 緊結 0.01人×65箇所
普通作業員 (山林砂防工)		人	0.03	溝切付 0.03人 砂質土、粘性土、礫質土の場合
普通作業員 (山林砂防工)		人	0.05	必要に応じて計上 挿木 0.05人×1束 (長さ40cm、径1から2cm、1束50本)

備考 溝切付 (※森林整備保全事業標準歩掛 治山3-12)

挿木 (※森林整備保全事業標準歩掛 治山3-13 (3) を準用)

(4)仮設工

ア コンクリート盤台施設

(1基当たり)

名称	規格	単位	数量
世話役		人	1.2
とび工		人	8.9
山林砂防工 (普通作業員)		人	1.3
ケーブルクレーン運転		日	0.64
諸雑費率		%	18

備考

1. 諸雑費は、パイプ、クランプ、足場板、ベース等足場材の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
2. 大きさは、1基当りW4.0m×L5.0m×H5.0m=100空m<sup>3</sup>程度のもの。

イ 水替樋

(10m当たり)

名称	規格	単位	数量
世話役		人	0.05
山林砂防工(普通作業員)		人	0.14
硬質塩化ビニル管(損料)	φ300mm、長さ4m	本	2.5
小径木(杉・檜)	径13cm以下 長さ2.0m以下	m <sup>3</sup>	0.05
なまし鉄線	#10	kg	1.0

備考

1. 損料率は、森林整備保全事業標準歩掛 仮設材の損料率(合成樹脂管)より以下の通りとする。

損率

使用期間	損率 (%)
3ヶ月未満	45
3~6ヶ月	55
1年未満	65



## (5)その他

## ア 施工地看板・標示板(治山)設置

(10 基当たり)

名称	単位	施工地看板・標示板規格		
		施工地看板	山腹工事標示板 A 型	山腹工事標示板 B 型
看板・標示板	基	10	10	10
土木一般世話役	人	1.1	0.8	1.1
普通作業員	人	3.7	2.6	3.7

## イ 雨量計設置撤去

(1 箇所当たり)

名称	単位	数量	備考
土木一般世話役	人	0.5	
普通作業員	人	1.0	
雑品	%	9	人件費×率

## 備考

1. 雑品には、木杭(L1.8m 6cm×6cm)4本、板材(0.05m<sup>2</sup>)及び雑材料を含み、人件費の9%を計上する。

## ウ 雨量観測及び資料整理

(30 日当たり)

名称	単位	数量	備考
土木一般世話役	人	0.55	
普通作業員	人	0.30	
諸雑費	%	1	人件費×率
自記雨量計	日	30	

## 備考

1. 自記雨量計
2. 成果品は測定値表、日降水量グラフを標準とする。
3. 農地関連事業においては率計上のため、土木一般世話役は計上しない。

## エ 板状排水材取付

(10m<sup>2</sup> 当たり)

名称	規格	単位	数量
山林砂防工(普通作業員)		人	0.06
板状排水材	7×600 mm	m	16.7
排水材接続品	J-P	個	5.0

## 備考

1. コンクリート間詰等の裏込礫の代用として板状排水材を設置する場合に適用する。

## オ 水抜管布設(硬質塩ビ管)

(100m 当たり)

名称	単位	数量
世話役	人	0.6
山林砂防工(普通作業員)	人	1.8
排水管	m	101

## 備考

1. 補正係数(管の切断ロス)は+0.01として上表に含めてある。

カ 木工沈床歩掛

木工沈床 (2.0m×2.0m×1.0m)

(1基当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
皮剥ぎ		m <sup>3</sup>	0.77	
床拵工		m <sup>2</sup>	4.0	
人力横木組立		本	32	
緊結		箇所	32	(連結鉄筋4箇所、鉄線28箇所)
杉丸太	長さ3.6-4.0m 径10~13cm	m <sup>3</sup>	0.77	
連結鉄筋	普通丸鋼 長さ1.2m、径16mm	t	0.008	
鉄線	亜鉛引き #12	kg	2.0	
機械中詰		m <sup>3</sup>	1.8	(詰石)
機械中詰		m <sup>3</sup>	1.2	(埋戻土)
籠用詰石	径20cm内外	m <sup>3</sup>	1.8	
埋戻し土	現場産良質土	m <sup>3</sup>	1.2	

皮剥ぎ

(0.34m<sup>3</sup>当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
普通作業員		人	0.16	

※森林整備保全事業標準歩掛 共通工 7-4-2- (1)

床拵工

(10m<sup>2</sup>当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
普通作業員		人	0.20	

※森林整備保全事業標準歩掛 共通工 5-15- (3) -2)

人力横木組立

(横木組立10本当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人	0.03	
普通作業員		人	0.14	
諸雑費		%	2	

※木製構造物施工マニュアルパーツ化歩掛 2- (2)

緊結

(100箇所当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人	0.16	
普通作業員		人	0.77	

※木製構造物施工マニュアルパーツ化歩掛 2- (4)

機械中詰

(1.2m<sup>3</sup>当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
普通作業員		人	0.13	
バックホウ運転		時間	表1	

※森林整備保全事業標準歩掛 共通工 5-15- (3) -1)

表1 バックホウ運転時間 (1.2m<sup>3</sup>当たり)

規格	バックホウ (山 0.45)	バックホウ (山 0.80)
	0.11	0.06

### 3. 積算書の数値処理

#### (1) 積算書の数値処理

項目	丸め位置	丸め方法	止まり	備考
請負工事費	—	—	円	
消費税相当額	—	—	円	
工事価格	10,000 円未満	※1	10,000 円	
工事原価	1,000 円未満	切り捨て	1,000 円	
一般管理費等	1,000 円未満	※1	1,000 円	
現場管理費	1,000 円未満	切り捨て	1,000 円	
共通仮設費	1,000 円未満	切り捨て	1,000 円	費目毎
直接工事費	1,000 円未満	切り捨て	1,000 円	工種毎
単価表				
金額	小数点以下 1 位	四捨五入	円止り	
単価	小数点以下 1 位	四捨五入	円止り	
明細表				
金額	小数点以下 1 位	切り捨て	円止り	

※1 工事価格の 10,000 円単位の調整は、一般管理費等で行うものとし、一般管理費等の計算額より端数調整前の工事価格の 10,000 円未満の金額を除いた額を計上する。

#### (2) 各単価内部数値処理

表示がない場合は、以下を原則として小数点以下 4 位四捨五入し 3 位止にする。また、特に指定のない場合の端数処理について下表に示す。

##### 一般事項

項目	丸め位置	丸め方法	止まり	備考
特に表示のない数値	小数点以下 4 位	四捨五入	3 位止り	
特に表示のない金額	小数点以下 1 位	四捨五入	円止り	
一般労務	小数点以下 3 位	四捨五入	2 位止り	
運転労務	小数点以下 3 位	四捨五入	2 位止り	
機械経費 (運転日に対する供用日の割合)	小数点以下 3 位	四捨五入	2 位止り	
機械経費 (1 日当り運転時間)	小数点以下 2 位	四捨五入	1 位止り	
機械経費 (当該工事における 供用日当り運転時間)	小数点以下 2 位	四捨五入	1 位止り	
機械損料単価整数部 3 桁以上 整数部 2 桁以下	有効数字 4 位 小数点以下 1 位	四捨五入 四捨五入	有効数字 3 位 円止り	
燃料数量 時間当損料	有効数字 3 位	四捨五入	有効数字 2 位	
日当 (整数部 3 桁以上)	小数点以下 1 位	四捨五入	整数	
日当 (整数部 1 桁以上)	有効数字 3 位	四捨五入	有効数字 2 位	
日当 (小数点以下)	小数点以下 2 位	四捨五入	小数点以下 1 位	
一般資材数量	小数点以下 2 位	四捨五入	1 位止り	指定のないもの
構成内訳の運転時間	小数点以下 2 位	四捨五入	1 位止り	
構成内訳の運転日数	小数点以下 3 位	四捨五入	2 位止り	
一日当たり作業量 (QD)	小数点以下 2 位	四捨五入	1 位止り	
補正值・係数	小数点以下 3 位	四捨五入	2 位止り	
距離の入力			整数	各単価毎設定
断面積の入力	小数点以下 2 位	四捨五入	1 位止り	各単価毎設定
雑品・諸雑費・諸経費率	小数点以下 4 位	四捨五入	3 位止り	
算出数量	小数点以下 3 位	四捨五入	2 位止り	